

府民の森くろんと園地探鳥会

(毎月第4土曜日 両園地通算第263回)

令和5(2023)年1月25日(土) 9:30~15:00頃

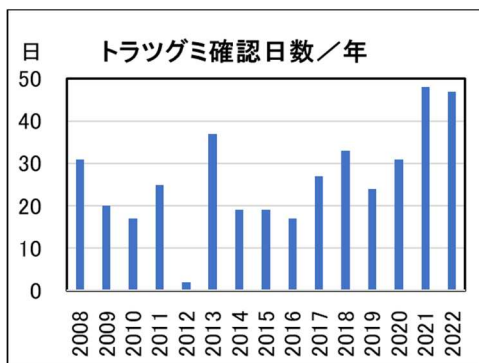
日本野鳥の会大阪支部 友田武・神戸徹・近藤輝男・沖光二、平軍二(090-6901-1425)

1月後半から冷え込みの日があり、北近畿などにいた冬鳥が南下しており、鳥の個体数が増えたようです。今日はお天気なのですが、風が冷たい一日となりそうです。ポケットカイロと、出てきた鳥で心も温め、楽しんでくださいますように。

I 交野の鳥シリーズ(113) トラツグミ

今月は交野バード2/6に公開された**近藤明博氏によるくろんと園地のトラツグミ(図1)**にしました。 →

トラツグミは体長 30 cm、全身が虎模様でツグミの中では最も大きい鳥。初めてトラツグミを見たとき、「これぞ阪神タイガース」と感激し、タイガースファンの人に「タイガースの鳥がいるよ」言いふらしたい思いをしたことがあります。

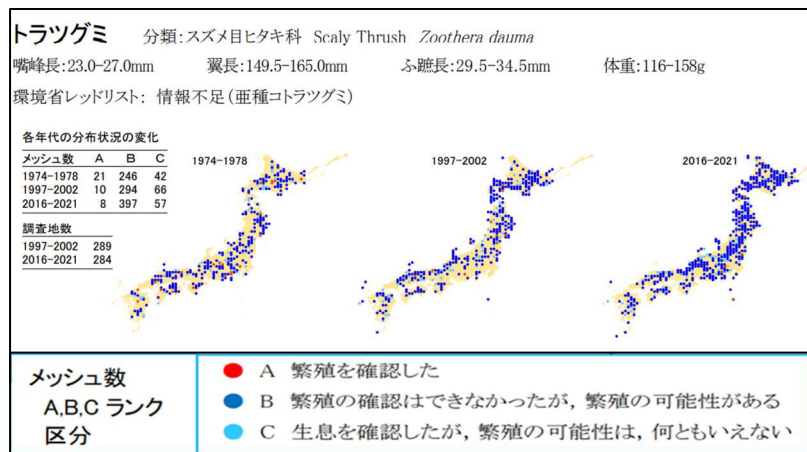


鳥がいるよ」言いふらしたい思いをしたことがあります。

←**友田武氏**が集約された交野市での観察日数は、図②の通りで、2012年が2日のみと少なかったが、他の年は20日~50日の範囲にあり、交野市では冬鳥として観察されていることがわかる。

図②トラツグミ年間観察日数 交野市(友田武氏)

また、大阪府内では平地~低山では交野市同様冬鳥であるが、図3を見ると北摂山地や和泉山脈などで繁殖しており、府全体では漂鳥となる。 →



↑ 図④全国鳥類繁殖 分布調査 2016~2021



図①トラツグミ(近藤明博氏) 20230206

293. **トラツグミ**
(大阪府繁殖地)
夏 5/20~7/20



大阪府鳥類目録

↑ 図③大阪府鳥類目録 2016

← 更に日本全体の傾向については、図4を見ると、50年前の1970年代より分布が広がっている。

Ⅱ トラツグミの別名ヌエについて



①鶴(ヌエ)の声 トラツグミの別名はヌエ、その鳴き声は一度聴いたら忘れられない。

私(平)も 40 年前は皆さんのように、あちこち鳥を見に行くことがあった。大阪支部の金剛山宿泊探鳥会は、金剛山の麓、千早山の家で一泊し、翌朝暗いうちに起きて頂上に向かって歩くというコース。歩き始めるとトラツグミの「ヒョー・ヒョー」と人が泣くような気味の悪い声がずっと響いていたことを思い出す。

②平家物語の鶴(ヌエ) 平安時代、近衛天皇が病床にあった時、毎夜不気味な声が響いてくる鶴の声で病気が悪化したため、御所の警護に当たっていた源三位頼政は、闇から聞こえるヌエの声をめがけて矢を放ちその怪物を仕留めた。その怪物は頭がサル、胴はタヌキ、尾はヘビ、手足はトラ、声は鶴(トラツグミ)に似た奇怪な動物であったとのことである。(国松俊英:鳥のことわざうそほん(1990年)山と溪谷社)

Ⅲ 先々月・先月の両園地の探鳥会結果

・2022/12/24 くらんど園地 スタート直後からヒヨドリの声はするものの他の鳥は出ないままだったが、山地へ入ってようやくルリビタキが姿を見せた。園地に入って「すいれん池」は上流から流入した土砂で埋まり草はらとなっていたが、草刈りされてすっきりしていた所に、カシラダカ・ミヤマホオジロ・ア



オジ・ルリビタキの4種が池際の灌木と行き来し、代わるがわるに姿を見せてくれた。「園路」に入ってから貯水ダム近くで、オオバヤシャブシに来るはずのマヒワを探したが見つからずカワラヒワのみ、管理棟の手前でムラサキシキブの実に来ていたウソの群は一部の人のみ、が残念だった。しかし「管理棟広場」での昼食時にジヨウビタキ・イカルはしっかりと見え、帰り道の「傍示の里」では枯葉が落ちた木に止まるノスリを確認、移動したものの100mほどにある

ノスリ(平)

カキノキに止まるというサービス。トータル種数は 22 種に止まったが、昨日より寒さはマシになり楽しく探鳥会を終えることができた。

・2023/1/28ほしだ園地 最近、天野川でタマシギやツグミ亜種のハチジョウツグミが出ていることから、コースを変更して天野川を下流側へ、昼食後ほしだ園地へ向かい、ほしだ園地の入り口で終了時間となり帰途につきました。幸いタマシギ2羽を見ることができ、亜種ハチジョウツグミは行くときは居なかったですが、帰途に近くのトウネズミモチの中にいるのを観察できた。更に、ほしだ園地への道で、ビンズイ5羽、アオサギ、コゲラ、ヤマガラを見ることができた。この結果、マルガモを入れるとトータル39種も確認、オカヨシガモ・タマシギ・タシギの3種は両園地探鳥会をスタートして以来の初記録となった。

Ⅳ-1 今日のくらんど園地探鳥会

12月に一部の人しか見られなかったウソ、全くでなかったアトリなどアトリ科の鳥、そしてミヤマホオジロ・カシラダカなどホオジロ科の鳥、最後の天田神社にいる筈のオオアカハラを期待し、みんな元気で、笑って終わりたいと思っています。

Ⅳ-2 次回探鳥会 2023/3/25 ほしだ園地 9:30~15:00 頃

ほしだ園地の岸壁、ハヤブサ営巣地でハヤブサの子育てを阻害していた雑木が伐採され、そろそろ営巣の始まる時期。3年間のブランクを乗り越え、再び子育て準備に入っているのを確認します。

今日と同じように、大阪支部 HP・ホームズからの申し込みをお願いします。

V 探鳥会記録 (くろんど園地・ほしだ園地)

科名	種名	年月日	2021		2022			2023		科名	種名	年月日	2021		2022			2023				
			11	12	10	11	12	1	2				11	12	10	11	12	1	2			
			27	25	22	26	24	28	25				27	25	22	26	24	28	25			
		回数	ほしだ	くろんど	くろんど	ほしだ	くろんど	ほしだ			回数	ほしだ	くろんど	くろんど	ほしだ	くろんど	ほしだ	くろんど				
		No	254	255	260	261	262	263	264			No	254	255	260	261	262	263	264			
キシ	ヤマドリ	4								ウグイス	ウグイス	464	2	1	4	2	2	2				
キシ	キジ	5								ウグイス	ヤブサメ	465										
カモ	ハクチョウSP	19								エナガ	エナガ	466	1	5	15	1	8	10				
カモ	オシドリ	24								ムシクイ	オオムシクイ	476										
カモ	オカヨシガモ	26						2		ムシクイ	メボソムシクイ	477										
カモ	ヨシガモ	27								ムシクイ	エゾムシクイ	479										
カモ	ヒドリガモ	28								ムシクイ	センダイムシクイ	480										
カモ	マガモ	30						2		メジロ	メジロ	485	16	10	30	2	15	21				
カモ	カルガモ	32						16		ヨシキリ	オオヨシキリ	492										
カモ	ハシビロガモ	34						2		レンジャク	キレンジャク	500										
カモ	コガモ	38			2			33		レンジャク	ヒレンジャク	501										
カモ	ホシハジロ	42								ミソサザイ	ミソサザイ	504										
カイツブリ	カイツブリ	62						4		ムクドリ	ムクドリ	506			2			9				
ハト	キジバト	74	1	2	2	4	2	2		ムクドリ	コムクドリ	508										
ハト	アオバト	78								カワガラス	カワガラス	512										
コウノトリ	コウノトリ	119								ヒタキ	トラツグミ	514										
ウ	カワウ	127								ヒタキ	マミチャジナイ	520										
サキ	ゴイサギ	139								ヒタキ	シロハラ	521	1	2			2	6				
サキ	ササゴイ	141								ヒタキ	アカハラ	522										
サキ	アオサギ	144						2		ヒタキ	ツグミ	525			4			13				
サキ	ダイサギ	146								ヒタキ	コマドリ	530										
サキ	コサギ	148						5		ヒタキ	ルリビタキ	536	4			4	6					
クイナ	バン	174						2		ヒタキ	ジョウビタキ	540	5	2		4	3	4				
クイナ	オオバン	175						1		ヒタキ	ノビタキ	542										
カッコウ	ホトトギス	185								ヒタキ	イソヒヨドリ	549						2				
カッコウ	ツツドリ	187								ヒタキ	エゾビタキ	552			1							
アマツバメ	アマツバメ	192								ヒタキ	サメビタキ	553										
アマツバメ	ヒメアマツバメ	193								ヒタキ	コサメビタキ	554			1							
チドリ	ケリ	195								ヒタキ	キビタキ	558			5							
チドリ	コチドリ	203								ヒタキ	ムギマキ	559			3							
シキ	タシギ	219						1		ヒタキ	オオルリ	561										
シキ	イソシギ	244								イフヒバリ	カヤクグリ	566										
シキ	タマシギ	271						1		スズメ	ニューナイスズメ	568										
ミサコ	ミサゴ	339								スズメ	スズメ	569	1			11		45				
タカ	ハチクマ	340								セキレイ	キセキレイ	573	1	1	1	2	1	2				
タカ	トビ	342			1					セキレイ	ハクセキレイ	574	3			8		10				
タカ	ツミ	354								セキレイ	セグロセキレイ	575	5			8		9				
タカ	ハイタカ	355		1						セキレイ	ビンズイ	580				5		5				
タカ	オオタカ	356	1							アトリ	アトリ	586			5							
タカ	サシバ	357								アトリ	カワラヒワ	587		2		6	5	17				
タカ	ノスリ	358			2		1			アトリ	マヒワ	588										
カワセミ	カワセミ	383						3		アトリ	ベニマシコ	592										
キツツキ	コゲラ	390	2	4	5		1	1		アトリ	ウソ	599					4					
キツツキ	アカゲラ	393								アトリ	シメ	600				1						
キツツキ	アオゲラ	397								アトリ	イカル	602					3	10				
ハヤブサ	チョウゲンボウ	401								ホオジロ	ホオジロ	610					3					
ハヤブサ	ハヤブサ	407	1			2				ホオジロ	カシラダカ	617					2					
サンショウクイ	サンショウクイ	412								ホオジロ	ミヤマホオジロ	618					3					
カササギヒタキ	サンコウチョウ	418								ホオジロ	アオジ	624		7			4	6				
モズ	モズ	420			2	1	3	3		ホオジロ	クロジ	625		2								
カラス	カケス	427								キシ	コジュケイ											
カラス	ハシボソガラス	435		2		5		3		ハト	カワラバト(トバト)			5		2		35				
カラス	ハシブトガラス	436	10	9	3	9	8	16		チドリ	ソウシチョウ			1	7							
カラス	キクイタダキ	438									ムシクイSP											
シジュウカラ	コガラ	441									タカSP											
シジュウカラ	ヤマガラ	442	5		4	1	1	1			マルガモ		1					1				
シジュウカラ	ヒガラ	443																				
シジュウカラ	シジュウカラ	445	1	1	2	1	2	5														
ツバメ	ツバメ	457																				
ツバメ	コシアカツバメ	459																				
ツバメ	イワツバメ	461																				
ヒヨドリ	ヒヨドリ	463	10	37	23	31	42	72														
観察種数合計												19	18	20	23	22	39					
個体数												71	94	118	116	121	384					
天候												晴時々雨		晴時々曇		晴	晴	晴	晴			
参加者												11	11	16	15	11	7					